

ウイルス性肝炎について

ウイルス性肝炎とは？

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、ついには肝硬変や肝がんに至ることもあります。B型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は合わせて300万人を超していると推定され、国内最大の感染症と言われています。

肝臓は”沈黙の臓器”

肝炎になっても、肝臓はなかなかSOSを出しません。「体がだるい」と気付くころには、かなりの重症になってしまっています。でも大丈夫。肝炎ウイルスは、検査で分かります！肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理・治療で、肝炎から肝硬変や肝がんが悪化するのを予防することが可能です。
※肝炎のほとんどは、肝炎ウイルスによって起こる「ウイルス性肝炎」です。

ウイルス性肝炎 Q & A



Q1 検査を受けるには？

【どんな検査？】

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、採血検査で判断します。短時間で済み、また、数週間で検査結果をお知らせできます。※感染後は3ヶ月ほどたないと、陽性にならないこともあります。

【どこで受けられるの？】

検査を受診する機会は、以下のようなものがあります。

- お住まいの市町村での地域検診
- お住まいの都道府県等の保健所での検診

※実施日程や費用などは、それぞれの実施主体によって異なりますので、別途お問い合わせください。



Q2 感染が分かったら？

肝炎ウイルスに感染していたとして、肝臓の状態は人によってまちまちです。まずは、専門医に相談してみましょう。

【主な治療方法(インターフェロン治療)について】

- インターフェロンは、免疫系・炎症の調節等に作用して効果を発揮する薬剤で、肝炎ウイルスの増殖を抑える効果を発揮します。
 - B型肝炎の場合は約3割、C型肝炎の場合は約5～9割の人が治療効果を期待できます。
- ※治療効果は、遺伝子型、ウイルス量などによって異なります。



Q3 インターフェロン治療に対する医療費助成制度とは？

国と都道府県では、肝炎の有力な治療法であるインターフェロン治療について、あなたの負担額を軽減する助成を行っています。助成の対象となるのはB型又はC型肝炎のインターフェロン治療です。あなたの世帯の所得に応じて、月当たりの医療費を軽減します。詳しくはお近くの保健所にお問い合わせ下さい。

インターフェロン治療薬の副作用による健康被害については医薬品副作用被害救済制度の対象となりうる場合があります

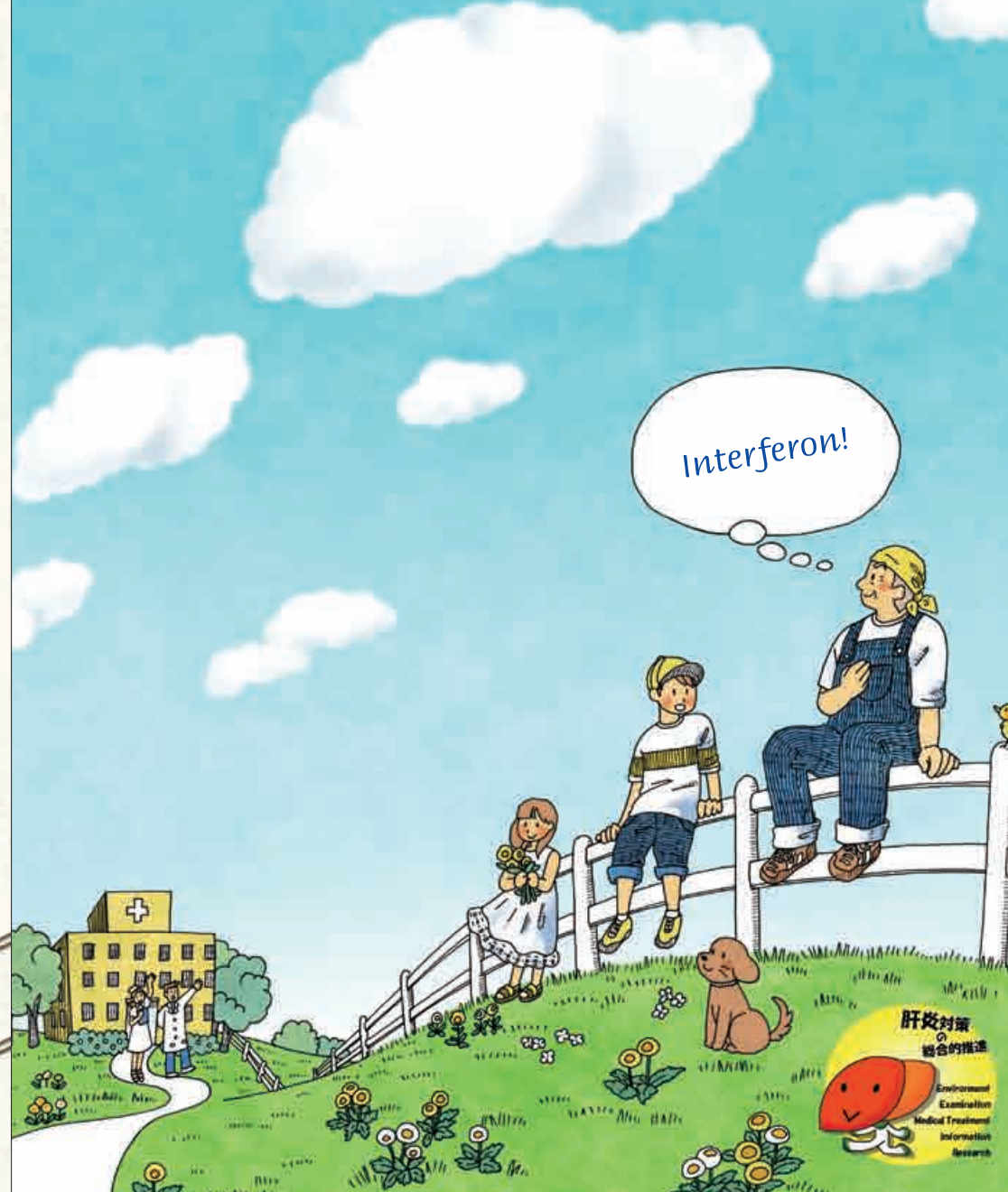
厚生労働省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室
TEL: 03-5253-1111 (月～金曜日/9時半～18時)
URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/index.html>

ウイルス肝炎研究財団(病気の相談)
TEL: 03-5689-8202 (月～金曜日/10時～16時)
URL: <http://www.vhfj.or.jp/08.consul/index.html>
Mail: vhfj@jeans.ocn.ne.jp

独立行政法人医薬品医療機器総合機構
救済制度相談窓口
TEL: 0120-149-931
URL: <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai/ldp.html>

肝炎のお話 vol.1

わたしのインターフェロン治療体験



肝炎対策の総合推進



Environment
Examination
Medical Treatment
Information
Research